

**「第11次愛知県交通安全計画（案）」に対する県民意見の概要及び県の考え方**

連番	県民意見の概要	県の考え方
1	地域別の推移・変化・傾向・人口や昼間人口を記載してください。	2021年度愛知県交通安全実施計画に過去5年間における県内の交通事故発生状況等（自動車保有台数・人口・人身事故）を掲載する予定です。なお、愛知県警察のホームページには、愛知県の交通事故発生状況や自治体別人身事故発生マップが掲載されております。
2	田原豊橋自転車道はナショナルサイクルートの指定を目指していますが、重複区間である国道42号線ではサイクリストが増加しています。歩道の無い区間や幅員の狭い区間、見通しの悪い区間があるので、対策を記載してください。	道路の改築等による交通事故対策の推進として、歩行者及び自転車利用者の安全と利用環境の改善を図るため、歩道等を設置するための既存道路の拡幅、自転車の通行を歩行者や自動車と分離するための自転車道や自転車専用通行帯、自転車の通行位置を記した道路の整備等の対策を記載しております。
3	東三河が人口当たりの交通事故死者数が愛知県内最多だと記事で見かけました。交通死亡事故は都市部の問題だと思いましたが、東三河が最多だと聞きショックでしたが、先日も国道42号線の歩道の無い所で死亡事故がありました。東三河は、歩道の無い国道、右折帯の無い交差点、通過交通を誘導するバイパス道路が無いなどインフラ整備が遅れているので、道路環境の整備を進めてください。	幹線道路における交通安全対策として、愛知県事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）や事故危険箇所対策等を推進してまいります。また、第11次愛知県交通安全計画に基づき、道路交通環境の整備を推進してまいります。
4	自動車などのスピード抑制のため、駐在所の建て替え時には、主要道路沿いに建て替えてください。	今後も交通死亡事故の発生状況等を踏まえて路線、時間帯等を選定し、効果的な速度取締りを実施してまいります。なお、駐在所建て替えについては、御意見としてお伺いしました。
5	自動車の免許法、車検法（整備法）、道路交通法、保険、自動車構造規格等、すべての法律は変えず、あくまでも、運転自動補助機能付き自動車。つまり、従来の延長線上での技術革新又、技術進化にとどめておくべきです。すべての責任は運転者にあると義務付け、ハンドル、アクセル、ブレーキをなしにすることはとんでもない。	自動車の安全・環境基準を国際的に調和することや、政府による自動車の認証の国際的な相互承認を推進することを目的として、国連の自動車基準調和世界フォーラムにて技術的、専門的検討を行い、検討を経た基準案の審議・採決を行っており、日本も参加しております。御意見としてお伺いしました。

連番	県民意見の概要	県の考え方
6	<p>公道以外（私道、私有地）での自動運転許可又は無人運転許可制度が必要。（車いす自動運転であっても構造規格の作成が必要など）公道であっても、部分的に指定された軌道を走ることに対する自動運転許可制、無人運転許可制又、開発許可制にしていく。（構造規格やメンテナンス法も必要）</p>	<p>自動車から遠隔に存在する監視・操作者が電気通信技術を利用して当該自動車の運転操作を行うことができる自動運転システム（遠隔型自動運転システム）、手動による運転時は通常のハンドル・ブレーキと異なる特別な装置（コントローラ等）で操作する自動車（特別装置自動車）による公道実証実験は、いまだ技術的な安全性も確立されておらず、「一般交通に著しい影響を及ぼすような通行の形態若しくは方法により道路を使用する行為」に該当することから、道路使用許可を受けることになっております。 御意見としてお伺いしました。</p>
7	<p>様々開発される、又、想定される部分的自動補助機能を精査し、1つ1つ法制化していき（従来の型の自動車と同時に公道を走る事を忘れてはいけない）国際的にも足並みをそろえて行くべきです。</p>	<p>自動車の安全・環境基準を国際的に調和することや、政府による自動車の認証の国際的な相互承認を推進することを目的として、国連の自動車基準調和世界フォーラムにて技術的、専門的検討を行い、検討を経た基準案の審議・採決を行っており、日本も参加しております。 御意見としてお伺いしました。</p>
8	<p>高校生に対する交通安全教育の推進の内容に、第10次計画と2020年度実施計画で不整合部分がある。第10次計画では、必要な技能と知識を十分に習得させるものとして、積極的な教育の方向性の記述が認められるが、2020年度実施計画では、高校生に対して二輪車の免許取得に規制をかけるような文言の記述が認められる。 また、「免許をとらない、買わない、乗らない、乗せない」の四ない運動を推進するとともに生徒が暴走族に加入したり、暴走行為をしないように交通安全教育を徹底するとあるが、文章の構成から高校生が二輪車に乗れば、皆が暴走族となり危険行為をすると想定しているように受け取られかねない。 さらに、暴走族と無関係の高校生が、在学中に二輪免許を取得することが「四ない運動」の記述により学校教育現場や社会から誤認識されたり、愛知県が「校則による高校生免許取得規制」の推進を唱導していると受けとめられないように、今後の11次計画と2021年度実施計画との整合性を大いに望む。</p>	<p>第11次交通安全計画では、「在学中に二輪車等を必要とする生徒がいることも考慮」という文言を追加しており、通学等の理由により在学中でも必要に応じて二輪免許を取得し、安全運転に関する意識の高揚と実践力の向上を図るとともに、実技指導等を含む実践的な交通安全教育の充実を図るとしております。 2021年度交通安全実施計画では、四ない運動は、暴走族追放気運の高揚を図るための運動であることを明記し、在学中に二輪免許を取得する高校生が誤解を受けないように配慮します。</p>



連番	県民意見の概要	県の考え方
9	<p>防犯を兼ねて、交差点の多くに高精細のカメラの設置を促進させて欲しいと思います。</p> <p>AI等を取り入れ、明らかな交通違反の取り締まり等に繋がられるようなシステムの構築に、ゆくゆくは繋がられればと思います。</p> <p>これらにより煽り運転の証拠や、立件にも繋がられるようにして欲しいと思います。</p> <p>車などで何らかの逃走犯が居た場合にも、このカメラシステムで追尾できるようにするまで発展できると良いと思います。</p>	<p>防犯カメラの設置は、犯罪抑止等に有効であることから、商業施設や金融機関、駐車場等において設置が進んでおります。その一方、目的外に利用されることなどに不安を感じる県民の方々がおみえになりますので、県としましては、「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に基づき、防犯カメラの適切な設置及び運用に努めてまいります。</p> <p>また、交通事故捜査への活用を目的とした常時録画式カメラ等が県内の事故多発交差点（15カ所）に設置されております。</p>
10	<p>愛知県は、交差点で左折時にも、右折車が入り込んでくる「交差点優先車妨害違反」に当たるケースが非常に多いのが現状です。</p> <p>特に横断歩道のある交差点においては、この状況で歩行者や自転車が右折の車に巻き込まれそうになるケースを多々見かけ、非常に危険です。</p> <p>しかし、この状況で取り締まりをされる事は全く見かけたことがありません。</p> <p>また、車線変更時にウィンカーを出さないドライバーもかなり見かけます。合図不履行違反となりますが、こちらについても取り締まりをされているところを見かけたことがなく、重点的に取り締まるべきだと思います。</p>	<p>警察では、交通事故に直結する横断歩行者等妨害等違反等をはじめ、交差点関連違反等の指導取締りを重点的に実施しております。</p> <p>指導取締りは交通事故分析結果に基づき、実施しているところでありますが、御意見では取締りを見かけないとのことでもあります。</p> <p>引き続き、交通事故分析結果に基づき、御意見にあるような、交通事故に直結する交通違反の取締りを強化するとともに「見える・目立つ・聞こえる」交通街頭活動に努めてまいります。</p>
11	<p>車両の安全性の確保が死亡者数を減らす、最大の重点ポイントだと思います。そのため引き続き、サポカー補助金の啓蒙・推進、衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進等抑制装置の普及の促進を進めて行って欲しいと思います。</p>	<p>ホームページに「サポカー・サポカーSの普及促進」、「安全運転支援装置の購入設置を支援する補助制度」を掲載し、サポカー等の普及促進を図っております。今後も、様々な交通安全啓発活動の機会を捉え、さらなるサポカー等の普及促進に努めてまいります。</p>
12	<p>「2026年アジア競技大会に向けた交通マナー向上」を掲げて、愛知県の交通マナー向上を目指すキャンペーンがあると思います。アジア中からゲストを迎えるこの機に、世界最高水準の交通マナーを目指す取り組みを進めた方が良いと思います。</p>	<p>行政、警察はもとより、地域の住民や企業が一体となり、さらなる交通マナー向上を目指し、各種取組に努めてまいります。</p>